

NARA万葉世界賞 創設の趣旨

8世紀に奈良の地で生まれた『万葉集』は、日本の古代性、地域性に根ざしながらも、当時の中国をはじめとする最先端の外来文化を受容した国際性豊かな心を今に伝えています。『万葉集』は、1300年以上の時を超え、私たち日本人のみならず、世界の人々の心にも訴えるものをもつ世界に誇り得る文化遺産といえましょう。

さらに世界的な研究・発信の拠点となることを目指し、日本文化の再発見と新たな文化創造に貢献するため、『NARA万葉世界賞』を創設し、『万葉集』に関する学術・文化の分野において、顕著な功績をあげられた方を広く世界から求め、顕彰することといたしました。

受賞者プロフィール



李 妍淑 (イ・ヨンスク)

所 属 東義大学校人文社会科学大学韓国語文学科教授

略 歴 1956年 大韓民国生まれ

1979年 釜山大学校卒業。

1981年 釜山大学校にて修士号取得。

1981年 東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程外国人研究生

1982～84年 同修士課程(文学修士)に進学。

1984～87年 同大学院総合文化研究科比較文学比較文化専門博士課程に進学。

1991年 釜山大学校にて博士号を取得。

1988年 東義大学校人文大学日語日文学科教授

1995年 同国語国文学科教授

2017年 同大学校人文社会科学大学韓国語文学科教授

受賞歴 2003年 韓国比較文学会第1回比較文学賞 他

選考委員



ドナルド・キーン
コロムビア大学名誉教授
日本文学研究者



遠山 敦子
(財)トヨタ財団 理事長
元文部科学大臣



五木 寛之
作家



中西 進
奈良県立万葉文化館名誉館長
日本文学研究者